

建設経済常任委員会委員長報告

去る9月6日の本会議において、議長から本委員会に付託されました案件は、議案5件及び請願1件です。本委員会は、所管部課長等の出席を求め審査を行いました。以下、審査の経過と結果について順次報告いたします。

記

- 1 審査年月日 令和4年9月7日(水)
- 2 場 所 委員会室2
- 3 出席委員 湯沢美恵、工藤日出夫、今関公美、諏訪善一良、
島野和夫、黒澤健一、滝瀬光一
- 4 審査結果

「議案第41号」北本市手数料条例等の一部改正については、挙手全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第42号」財産の取得については、挙手全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第43号」市道の路線の認定については、挙手多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第44号」市道の路線の廃止については、挙手全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議案第45号」令和3年度北本市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分については、挙手全員により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議請第4号」中央保育所跡地を街区公園に整備する請願については、挙手全員により採択すべきものと決定しました。

◎「議案第41号」について

(1) 「改正内容の中で既存住宅の認定追加に伴い手数料を新設するということだが、過去の申請内容からみて想定される状況について」質疑したところ、「これまでは新築に対する認定申請があり、その後に増改築に対する認定申請が対象になりました。今回の改正で新たに増改築を伴わない既存住宅が新規で対象になるという内容で、新規住宅は過去5年間の平均で52件、額として31万円、増改築については0件となっていることから、既存住宅に対する認定申請についても年間で1件あるかないかという想定をしています」との答弁がありました。

(2) 「長期優良住宅として認定を受けると、リフォームをした場合は所得税等の税制優遇が図られるメリットがあるということだが、リフォームされない既存住宅にお金をかけて保全計画を策定して、申請手数料を払ってまで行うメリットはあるのか」と質疑したところ、「税制優遇のメリット以上に申請手数料がかかるというところは国や県も認識しており、申請があまり増えないのではないかと危惧しているところですが、今後の中古住宅市場でのニーズによるところだと考えています」との答弁がありました。

本案に対する討論はありませんでした。

◎「議案第42号」について

(1) 「前回の第1分団の消防ポンプ自動車一式購入時と比較して230万7,700円の増ということだが、その要因について」質疑したところ、「仕様は同じですが、新型コロナウイルス感染拡大やロシアのウクライナ侵攻による影響で、資機材等の価格が高騰したためです」との答弁がありました。

(2) 「更新時期が15年ということで、その間大きな車両故障が今までなかったと思うが、近隣市と比べて適当な期間なのか」と質疑したところ、「15年以上経過すると架装部分の部品に不足が生じること、県央消防が15年で更

新していることから15年としています。また、近隣市の状況としては鴻巣市が19年で、桶川市が17年となっていますが、鴻巣市は17分団、桶川市は10分団、北本市は6分団となっており、本市より保有車両台数が多い状況です。今後の更新時期については、消防団とも協議していきたいと考えています」との答弁がありました。

本案に対する討論はありませんでした。

◎「議案第43号」について

(1) 「実際に現地も確認したところ、市道認定路線と既存道路の接続がクランクになっており、危険だと感じたがなぜ直線道路にできなかったのか」と質疑したところ、「開発指導要綱に基づき事業者と協議している中で、クランク形状の道路よりは直線道路の方が通行も支障なくできるというところもありますが、クランクを設けることによって減速させて事故を未然に防ぐという考えもあることからこのような形状になっています」との答弁がありました。

(2) 「市道認定路線と既存道路の接続がクランクになっており、高低差もあり、一部の土地に水が流れて溜まってしまわないかと想像するが適切な指導は行ったのか」と質疑したところ、「開発の事前協議の中で排水や雨水処理、路面凍結を想定した対応については開発者に指導し、協力をいただいているところです。最近ではゲリラ豪雨も増えてきていますので雨水対策は慎重に協議しています」との答弁がありました。

本案に対する討論はありませんでした。

◎「議案第44号」について

(1) 「市道廃止路線が3本あるが、それぞれの売払単価と算定根拠について」質疑したところ、「市道4185号線が1平方メートル当たり5,200円、市道5089号線が5,100円、市道6185号線が6,300円で、固定資産評価額を基に算

定しています」との答弁がありました。

本案に対する討論はありませんでした。

◎「議案第45号」について

(1) 「令和3年度未処分利益剰余金が計上された要因について」質疑したところ、「流域下水道維持管理負担金が減少したこと、また、毎年支払っている高利回りの償還が徐々に終わりつつあり、償還金が減少していることが主な要因です」との答弁がありました。

(2) 「令和3年度未処分利益剰余金6,361万1,039円を資本剰余金ではなく資本金へ組み入れた理由について」質疑したところ、「地方公営企業法に基づき、減債積立金を使用したものについては、組入資本金ということで資本金に組み入れます。減債積立金を補填財源として使用することで、利益剰余金に振替え、未処分利益剰余金に6,361万1,039円がある状態にして、それを資本金に組み入れるという会計処理になっています」との答弁がありました。

本案に対する討論はありませんでした。

◎「議請第4号」について

本請願審査では、紹介議員を招請し審査を行いました。

はじめに、紹介議員から請願趣旨の説明を受けた後、質疑・答弁がありましたので、その内容について主なものを申し上げます。

(1) 「緑地、地域の避難場所や防災拠点として、街区公園を整備することとあるが、中央保育所の跡地全てを街区公園として整備することを望んでいるのか」と質疑したところ、「地元の要望とすれば跡地全ての敷地を活用して、市制施行以来の中央保育所があったというモニュメント、記念的なものの建設も含めて整備していただきたいということです」との答弁がありました。

(2) 「請願事項2の中央保育所周辺の狭隘道路とはどこの道路のことを指

しているのか。また、どのくらい狭いのか」と質疑したところ、「市道6334号線のこと、道路法では基本的には幅員4メートルという基準がありますが、幅員4メートルに満たないところが170メートル近くもあります。中央保育所の建替えと同時に道路整備もしてほしいという考えもありましたが、その計画がなくなってしまい、道路が現状のままだと困るということです」との答弁がありました。

本請願に対する討論はありませんでした。

以上、報告いたします。

令和4年9月29日

建設経済常任委員会
委員長 滝瀬 光 一

北本市議会議長 工藤 日出夫 様